

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	霊園・霊堂維持管理事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	建設	局	公園緑地	部	泉ヶ丘公園事務所 課 評価責任者(課長名)
					19-72
					三田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	6	良好な居住環境の形成	無
	2	事業開始年度	昭和 37 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	・都市公園法 ・墓地、埋葬等に関する法律 ・堺市霊園条例 ・堺市立霊堂条例 ・堺市墓地等の経営の許可等に関する条例			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	堺市の公園墓地として昭和37年から造成工事を始め、霊園は市民から使用者を募集して昭和38年から使用を開始し、霊堂については平成7年度より使用を開始している。 ・屋外墓地区画数 … (15,336区画) ・屋内型霊堂納骨壇基数 … (2,663基)				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (泉ヶ丘公園事務所) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	霊園・霊堂の利用者や利用者を対象		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	先祖を祭祀するための施設として、霊園・霊堂を適正に維持管理し、使用者及び利用者に快適な公園墓地の提供を行う。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・霊園・霊堂利用者の各種申請等手続きの対応 ・空き墓地、納骨壇の新規利用者の募集 ・霊園・霊堂施設等の修繕及び樹木等の維持管理を行うための委託発注 ・霊園内下水管敷設に伴うトイレ改修工事 ・老朽化した電気・水道のインフラ更新工事の計画・実施		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 業務及び工事受注者			

Ⅲ. 投入量

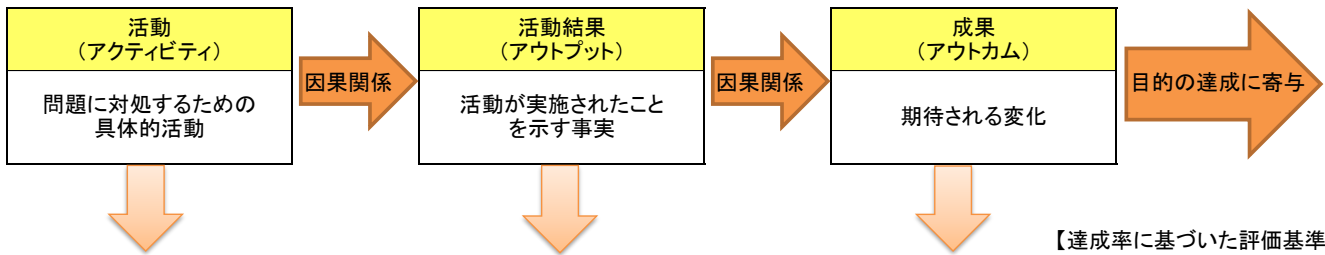
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	254,973	277,775	262,408	280,614	
11 主な事業費内訳	委託料	千円	112,730	109,370	119,610	116,174
	光熱水費	千円	18,200	17,121	19,078	17,500
	工事請負費等	千円	107,055	127,982	110,682	129,721
	施設修繕料	千円	9,084	7,108	4,086	5,000
	国・府支出金	千円				
	財源内訳	千円	129,725	130,405	129,999	131,286
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	27,700	87,800	71,000	103,900
市債	千円	97,548	59,570	61,409	18,096	
その他(基金繰入金等)	千円	0	0	0	27,332	
12 人件費 (b)	千円	53,000	62,400	62,000	62,100	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	307,973	340,175	324,408	342,714	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	霊園・霊堂維持管理事業	シート番号	19-72
-------	-------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	墓地については空き墓地の募集を行い、97人の申し込みを募り、40人の新規墓地使用者を得ることができた。納骨壇については年間を通じて募集を行い、57人の新規納骨壇使用者を得ることができた。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		墓地使用率	%	目標値	15,336	15,336	15,336	15,336
				実績値	14,883	14,714	14,557	
				達成率	97%	96%	95%	
				評価	普通	普通	普通	
		算出方法・設定根拠など		墓地の総区画数における使用率				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		納骨壇使用率	%	目標値	2,663	2,663	2,663	2,663
				実績値	1,876	1,874	1,881	
	達成率			70%	70%	71%		
	評価			少し悪い	少し悪い	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		納骨壇の設置基数における使用率					

業績の分析

	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
17	<p>近年、墓地のニーズの多様化により、永代供養できる施設や合葬墓のような様々な形態の墓地の供給がある中、本市の永年使用できる墓地の利用者数は減少傾向にある。しかしながら、毎年実施している空き墓地募集においては抽選となる区画もあり、永年使用できる墓地の需要は継続してあるものとする。同様に納骨壇の新規利用者も募ることができていることから事業の有効性は高いと考える。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。